

「日本軍『慰安婦』問題に対して、日本政府の誠実な対応を求める意見書決議提出を
堺市議会に求める請願署名運動」へのご参加の呼びかけ

金学順（キム・ハクスン）さんが、「日本軍『慰安婦』にされた」と名のり出してから17年になります。

以後、アジア各国やオランダの女性たちが勇気を出してつぎつぎと名のりでて、やっとその全貌が見えてきました。国連人権委員会での事実糾明と日本政府への勧告はじめ、日本政府に対し「慰安婦」問題の解決を求める様々な活動が国内外で行なわれて来ました。しかし、日本政府は、国際世論に一切耳を傾けようとせず、教科書の記述も削除するという態度をとり続けています。

昨年、アメリカ下院はじめオランダ、カナダ、欧州連合(EU)などの議会が、日本政府に対して「日本軍が女性を強制的に性奴隷にしたことを「正式に認め」「謝罪する」よう求める決議を採択しました。

また今年に入ってから、フィリピン、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランド等で決議採択の運動が続けられています。

国内では、今年3月 宝塚市議会で「日本軍『慰安婦』問題の真相究明を行い、被害者の尊厳回復に努め誠実な対応を求める」意見書が採択されました。続いて、清瀬市議会（東京）での採択が実現し、全国各地でも請願活動の取り組みが活発になってきています。

この堺市においても、5月には、フィリピンの被害者ロラの苦しみをつづったミュージカル「ロラマシン物語」を約1500人の市民が鑑賞し、この問題に真摯に向き合う機会を得ました。また、6月には2ヶ所で行われた「ハルモニのお話を聴くつどい」に合計約500人の市民が参加、被害者の証言に耳を傾けました。

17年間訴え続けて高齢者になられた被害者がおひとり、おひとり亡くなられてゆく現実を目の当たりにし、被害者が一人でも多く生きておられる間に解決を！と願わずにはいられません。

私たちの住む堺市は、国際平和と人権条例を制定し、世界に向けて国際平和都市宣言をしている政令都市です。名実ともに平和と人権の街を築くために、多くの市民のみなさまの知恵と力を合わせた粘り強い取り組みが必要です。正義の実現を希求する世界の人々とともに「日本軍『慰安婦』問題にたいして、日本政府の誠実な対応を求める意見書決議」を堺市議会に求める請願署名運動を行ないたいと思います。ぜひ、この運動に賛同していただきたく呼びかけます。

2008年9月6日

日本軍『慰安婦』問題の解決を求める請願署名実行委員会・準備会

【呼びかけ人】

足立こずえ（日本基督教団鳳教会牧師）

有馬 理恵（俳優座・「ロラマシン物語」出演）

小林 邦子（弁護士）

小牧 薫（大阪歴史教育者協議会委員長）

田中 泰雄（弁護士）

長谷川俊夫（天理教教会長）

村田 浩治（弁護士）

山田 漢子（大阪YWCA会員）

連絡先：大阪府堺市堺区旭ヶ丘北町二丁2番16号 山野善子方 TEL：080-6123-1250
e-mail: woodgate1313@yahoo.co.jp